

【2026 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人権と法	113201	選択	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
桑原 修	B303	o.kuwa	木曜日 13:00~15:00		
授業の目的・概要	本講義では大学生を取り巻く様々な法的トラブルとその対処法について学ぶ。ここでは日本国憲法を中心に様々な課題に触れ、「人権とは何か」「法はどのように守るのか」について理解し、それを実践できるようにすることを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク)
学習上の助言	基本的な法的知識を身に付けるうえで、ニュースや新聞等から得られる情報に関心を持ち、それに対する法的思考を日々の生活の中で意識付けることが大切である。				
教科書	特に指定なし				
参考書	特に指定なし				
外部教材	特に指定なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	学生生活で生じる様々な問題に対し法的思考をもって対処することができる。		HSU (1)、(2)、(3)、(5)		
②	法令を遵守した生活を実践することができる。		HSU (1)、(2)、(3)		
③	人権を尊重し他者を思いやる人間性を身に付けることができる。		HSU (1)、(2)、(3)、(5)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法・学習方法の説明)、「大学生の法的位置づけと 18 歳の権利」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	
2	「成年と未成年の違い (青年と未成年の定義、未成年の制限、成年年齢引き上げの背景)」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	
3	「大学生と契約・消費者トラブル (トラブル概要、トラブル事例、法律のポイントと救済方法)」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	
4	「大学生と賃貸トラブル (賃貸契約とは、一人暮らしの注意点、トラブル事例とその対処法、契約時の注意点)」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	
5	「大学生とバイトトラブル (トラブル概要、トラブルの発生要因、トラブル事例とその対処法)」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	
6	「大学生と SNS トラブル (トラブルの発生要因、トラブルに伴う法的責任、トラブル発生時の基本対応)」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	
7	「大学生と友人・恋人トラブル (トラブル発生要因、トラブル事例、トラブル発生時の基本対応)」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	
8	「大学生_不当な契約からの対処法 (不当な契約とは、トラブル発生時の対処法と予防策、主な相談先)」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	
9	「大学生_罪と罰 (犯罪の成立要件、犯罪事例と予防策、罰の種類、少年法との関係、罪刑法定主義)」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	
10	「大学生と社会保険制度 (公的医療保険、公的医療保険の 3 本柱、健康保険、国民年金、バイトと社会保険、奨学金と社会保障との関係)」を学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	
11	「大学生と年金制度 (年金制度の仕組み、学生の年金加入義務と納付特例制度、バイトと厚生年金加入)」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4	

【2026 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

12	「大学生と税金・社会保険料（大学生と税金・社会保険料・健康保険・年金保険料）」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4			
13	「大学生と就活トラブル（内定に関するトラブル、就活ハラスメント、インターン・バイトでのブラック実習、内定後の契約・誓約書トラブル）」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4			
14	「大学生と交通事故の法的責任（大学生と交通事故、トラブル事例、法的責任の種類、適用保険とその対応）」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4			
15	「大学生と大学との法的関係（学生と大学との法的関係、学生の権利、大学の権利義務）」について学び、小テストを通して主体的に考える力を養う。	講義	小テストと講義内容について復習する。法的思考を日々の生活の中で習慣付ける。	4			
試	定期試験を課す。 達成度評価および評価のポイント参照。						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	10	10	0	0	0	20
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験では短答式（選択式）問題と記述式問題を課す。 定期試験と小テストの内容を総合的に評価する。				内容を確認しコメントを付して個別に返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	講義内の小テストも評価の対象とする。 小テストと定期試験の内容を総合的に評価する。AIの使用を禁止する。 これに反した場合は評価を減ずる。				内容を確認しコメントを付して個別に返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	なし						
実践的授業の内容	日々の生活の中で生じ得る様々な問題に対して、事例を示しながら法的見地からその対処法について考える。法律や社会問題に対する理解を深め批判的思考を養う。						
そ の 他	「人権と法」を学ぶことで日常生活における様々な知識や対処法を身に付けることができる。学生生活や社会生活で法的思考や感覚を身に付けることによって今後の人生の指針となり得る。 本講義では、やむを得ずシラバスの変更が生じる場合は、授業または Teams 等で周知する。対面授業ではあるが、連絡や資料配布等に Teams を使用するので、各自必ず確認すること。						